



2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月9日

上場会社名 アース製薬株式会社
 コード番号 4985 URL <https://corp.earth.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統括部統括部長 (氏名) 三塚 剛
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5207-7458

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	43,574	6.1	1,491	24.5	1,578	29.2	774	53.3
2018年12月期第1四半期	41,057	0.1	1,198	62.3	1,222	62.1	505	75.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 1,090百万円 (%) 2018年12月期第1四半期 409百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	38.30	
2018年12月期第1四半期	25.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	122	42,849	31.6
2018年12月期	108,580	44,372	37.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 38,791百万円 2018年12月期 40,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		115.00	115.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00		100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	104,100	3.0	7,250	11.6	7,450	11.3	4,450	10.0	220.13
通期	186,500	3.0	2,400	131.5	2,800	102.5	500		24.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	20,220,000 株	2018年12月期	20,220,000 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	4,770 株	2018年12月期	4,760 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	20,215,233 株	2018年12月期1Q	20,195,381 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4'1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済について、国内景気は、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復を続けております。また、当社グループが展開に注力するアジア地域では、中国景気が緩やかに減速しており、通商問題の動向が経済に与える影響は危惧されるものの、ASEANは着実な経済成長を続ける状況でありました。

このような経済状況のなか、当社グループは経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと「お客様目線による市場創造」を重視し、『海外展開の強化』『収益力の向上』『グループシナジーの最大化』に加え、従来からの取り組みの発展・強化をテーマに、成長力と収益性の双方を高める経営を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は435億74百万円(前年同期比 6.1%増、計画比 103.0%)、営業利益14億91百万円(前年同期比 24.5%増、計画比 138.1%)、経常利益15億78百万円(前年同期比 29.2%増、計画比 139.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億74百万円(前年同期比 53.3%増、計画比 221.2%)となりました。

当社グループの経営成績に重要な影響を与えた要因としては、以下の点であると認識しております。

- ・ 虫ケア用品の初動や新製品の出荷が好調であったこと
- ・ 原価率が計画通りに推移し、売上総利益が前年・計画ともに上回ったこと
- ・ コスト低減を図り、販管費比率が前年・計画ともに下回ったこと

(連結業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比	計画比
売上高	41,057	42,300	43,574	+6.1%	103.0%
営業利益	1,198	1,080	1,491	+24.5%	138.1%
経常利益	1,222	1,130	1,578	+29.2%	139.7%
親会社株主帰属四半期純利益	505	350	774	+53.3%	221.2%

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

[家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、規模の拡大と収益性の確保の両立を目指し、新製品投入による新規ユーザーの開拓、既存製品のリニューアルによる製品価値の向上とともに、広告宣伝や魅力ある売場づくりなどお客様とのコミュニケーション施策を通じて、市場の活性化に努めました。また、製造コストや販売にかかるコストの低減を図ることで、適正利益の確保に努めました。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績については、今春発売の新製品の売上寄与などもあり、売上高は403億12百万円(前年同期比 6.6%増)となりました。利益面では、売上増に伴う売上総利益の増加に加え、費用の投入が概ね計画通りであったことにより、セグメント利益(営業利益)は12億84百万円(前年同期比 29.3%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	14,902	15,746	844	5.7%
日用品部門	21,157	22,772	1,615	7.6%
口腔衛生用品	8,789	9,417	627	7.1%
入浴剤	4,412	4,742	330	7.5%
その他日用品	7,955	8,612	657	8.3%
ペット用品・その他部門	1,767	1,793	25	1.5%
売上高合計	37,827	40,312	2,485	6.6%
セグメント利益(営業利益)	993	1,284	291	29.3%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第1四半期連結累計期間では2,327百万円、当第1四半期連結累計期間では2,696百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

虫ケア用品部門

国内においては、シーズン序盤の市場推移はやや前年を下回ったものの、出荷が好調に推移したことに加え、吊り下げ虫よけ『アース虫よけネットEX』など新製品の寄与もあり売上を伸ばしました。また、海外においては、中国を中心に好調に推移しました。

以上の結果、当部門の売上高は157億46百万円(前年同期比 5.7%増)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、洗口液の新製品『モンダミンNEXT歯周ケア』の売上寄与に加え、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が引き続き好調に推移したことで、売上高は94億17百万円(前年同期比 7.1%増)となりました。

入浴剤分野においては、粉剤タイプの『バスクリン』・『バスロマン』が価格体系を変更した影響から売上が前年同期を下回ったものの、錠剤タイプの『温泡』、また白元アース㈱の『HERSバスラボ』シリーズも好調を維持したことで、売上高は47億42百万円(前年同期比 7.5%増)となりました。

その他日用品分野においては、消臭芳香剤『スッキーリ!』が売上を伸ばしたことに加え、インフルエンザの流行により家庭用マスク『快適ガード』が好調に推移したことなどにより、売上高は86億12百万円(前年同期比 8.3%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は227億72百万円(前年同期比 7.6%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品分野においては、ペット用虫ケア用品が前年同期を下回ったものの、タオル・クリーナーなどのペットケア用品が売上を伸ばしました。また、当第1四半期連結会計期間よりナチュラルペットフードを取り扱う子会社のペットフード工房㈱を新たに連結しました。これらにより、当部門の売上高は17億93百万円(前年同期比 1.5%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、包材関連工場で原料やエネルギーコストの高騰によりコスト削減への動きが強まり、AIを組み込んだIoT・ICT導入・製造機械高速化による製造工程効率化、工場の統廃合・集約化、海外への工場移転などが進んでいます。一方で、食品の異物混入問題から消費者の「安全・安心」に対する意識は高く、高機能食品、医薬品、医療機器、自動車等を中心とした市場では、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、人材の育成、業務効率の改善を目的としたソフトウェア投資など、お客様のニーズに速やかに対応できる社内体制を構築するとともに、技術開発力の強化により差別化された品質保証サービスを提供することで、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は59億82百万円(前年同期比 7.1%増)、セグメント利益(営業利益)は3億20百万円(前年同期比 0.2%減)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	5,583	5,982	398	7.1%
セグメント利益(営業利益)	321	320	△0	△0.2%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第1四半期連結累計期間では25百万円、当第1四半期連結累計期間では24百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて142億34百万円増加し、1,228億14百万円となりました。これは主に、売上債権及びたな卸資産の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて157億57百万円増加し、799億64百万円となりました。これは主に、仕入債務及び短期借入金の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて15億23百万円減少し、428億49百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて5.4ポイント低下し、31.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月13日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,044	5,867
受取手形及び売掛金	21,969	30,313
商品及び製品	19,311	25,237
仕掛品	956	981
原材料及び貯蔵品	3,515	4,276
その他	2,703	2,720
貸倒引当金	△40	△41
流動資産合計	54,460	69,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,335	28,410
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,718	△13,964
建物及び構築物(純額)	14,617	14,446
機械装置及び運搬具	14,412	14,509
減価償却累計額	△9,754	△9,972
機械装置及び運搬具(純額)	4,658	4,537
土地	7,916	7,927
リース資産	339	354
減価償却累計額	△256	△275
リース資産(純額)	83	79
建設仮勘定	343	271
その他	8,183	8,316
減価償却累計額	△6,587	△6,754
その他(純額)	1,595	1,562
有形固定資産合計	29,215	28,823
無形固定資産		
のれん	12,109	11,703
その他	4,071	4,055
無形固定資産合計	16,180	15,759
投資その他の資産		
投資有価証券	4,827	4,839
退職給付に係る資産	2,684	2,744
繰延税金資産	275	451
その他	939	841
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	8,723	8,875
固定資産合計	54,119	53,458
資産合計	108,580	122,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,684	33,559
短期借入金	12,072	23,057
1年内返済予定の長期借入金	3,882	3,758
未払金	6,639	5,441
未払法人税等	700	1,179
未払消費税等	258	218
賞与引当金	169	1,212
返品調整引当金	487	408
その他	3,165	3,022
流動負債合計	55,061	71,859
固定負債		
長期借入金	6,809	6,029
繰延税金負債	763	504
退職給付に係る負債	497	484
資産除去債務	436	437
その他	639	649
固定負債合計	9,146	8,105
負債合計	64,207	79,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,432	3,432
資本剰余金	3,463	3,463
利益剰余金	32,984	31,322
自己株式	△15	△15
株主資本合計	39,865	38,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	873	879
為替換算調整勘定	△380	△153
退職給付に係る調整累計額	△131	△138
その他の包括利益累計額合計	361	588
非支配株主持分	4,145	4,058
純資産合計	44,372	42,849
負債純資産合計	108,580	122,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	41,057	43,574
売上原価	24,619	26,421
売上総利益	16,438	17,152
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,237	1,267
広告宣伝費	1,965	2,027
販売促進費	3,513	3,761
貸倒引当金繰入額	5	1
給料及び手当	2,872	2,974
賞与引当金繰入額	812	797
旅費及び交通費	417	371
減価償却費	271	274
のれん償却額	640	651
地代家賃	272	277
研究開発費	653	593
その他	2,578	2,661
販売費及び一般管理費合計	15,240	15,660
営業利益	1,198	1,491
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	0	3
為替差益	-	9
受取ロイヤリティー	1	0
受取手数料	9	9
受取家賃	29	29
その他	54	61
営業外収益合計	101	121
営業外費用		
支払利息	29	29
為替差損	42	-
その他	6	4
営業外費用合計	77	34
経常利益	1,222	1,578
特別利益		
固定資産売却益	-	3
特別利益合計	-	3
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	5	14
特別損失合計	5	14
税金等調整前四半期純利益	1,216	1,567
法人税、住民税及び事業税	929	1,156
法人税等調整額	△355	△447
法人税等合計	573	708
四半期純利益	642	859
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	85
親会社株主に帰属する四半期純利益	505	774

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	642	859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△457	8
為替換算調整勘定	△611	227
退職給付に係る調整額	16	△4
その他の包括利益合計	△1,051	230
四半期包括利益	△409	1,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△544	1,000
非支配株主に係る四半期包括利益	135	89

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。